

平成20年度年間授業計画 第6学年(国語)

月	学習内容(単元)	時間数	書写	年間学習目標
4	1 表現を味わいながら声に出して読もう	9	3	(関心・意欲・態度)
5	風切るつばさ、野のまつり、五月、雪		3	・国語に対する関心を持ち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書しようとしたりする。
	2 自分の意見を伝えるスピーチをしよう	10		
	伝え合おう、わたしの意見		3	
6	・自由作文	4		(話す・聞くこと)
	3 書かれていることがらの中心をおさえながら読もう	13	3	・目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりする。
7	イースター島にはなぜ森林がないのか		3	
	・自由作文	2		(書くこと)
9	4 強く語りかけてきたことを考えながら読もう	8	8	・目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書く。
	ヒロシマのうた			
	5 役割に応じた話し方を工夫してニュース番組を作ろう	12		(読むこと)
10	6 作家と作品をかかわらせて読もう	13	3	・音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解している。
	宮沢賢治			・書写では、文字の形、大きさ、配列、毛筆では、点画の筆づかい、文字の組み立て方、字配りなどを理解して文字を正しく書く。
	・自由作文	2		
	・読書感想文	4	3	
11	7 いろいろな言葉について調べよう	12		
	言葉の意味を追って			
	・自由作文	3	4	
12	8 構成を工夫して書こう	12		
	「わたしの意見」を書こう			
1	9 わたしたちの「未来」について討論しよう	12	4	
2	百年前の未来予測	14	3	
	10 人物の生き方を考えよう			
	海のいのち			
3	11 さまざまな表現方法を生かして	10	3	
	「未来へのメッセージ」を書こう			
	12 読書の部屋 一人の作家を追って			
年間授業時数		175		
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・読解力・豊かな心情などが育てられるように、朝の10分間読書や単元に関連のある図書の紹介等を通じて読書の習慣を身に付けるようにしていきます。 ・単元のねらいに応じて、二人組み、グループ学習などいろいろな学習形態で話し合いの場を広げていきます。 ・新聞、情報誌、感想文、日々の日記など様々な場面に応じた文章を書く機会を持つようにします。 ・漢字や言葉遣いなどの基礎的な言語事項については、ドリルなどを用いて繰り返し練習していきます。書写は練習用紙の工夫などをすることで、文字を正しく書く習慣を身に付けるようにしていきます。 			
評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとのテストのほか、ノート整理、作文、日記、朗読など学習のまとめも評価します。また、漢字ドリル、漢字ミニテストも評価します。 ・読書に対する意欲や態度も、図書の検索履歴や読書案内などを考慮し、評価します。授業では自分の言葉での発表を重視し、聞き手、話し手としての意欲や態度を評価します。また、自主的な言葉の意味調べや漢字練習を奨励し、文や語句に対する興味関心を評価します。 			

平成20年度年間授業計画 第6学年(社会)

月	学習内容(単元)	時間数	年間学習目標
4	1 日本の歴史 ・米づくりのむらから古墳のくにへ	2	(関心・意欲・態度) ・我が国の歴史と政治及び国際社会における我が国の役割に関心を持ち、それを調べることを通じて、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を持つと共に、平和を願う日本人として、世界の人々と共に生きていくことが大切であることの自覚を持つとする。
5	・聖武天皇と奈良の大仏	9	
6	・源頼朝と鎌倉幕府	8	
7	・3人の武将と全国統一	6	
9	・徳川家光と江戸幕府 ・江戸の文化をつくりあげた人々 ・明治維新をつくりあげた人々	6 5 7	(思考・判断) ・我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会事象から、学習の問題を見出して追求、解決し、社会事象の意味をより広い視野から考え、適切に判断する。
10	・世界に歩みだした日本	8	(技能・表現)
11	・長く続いた戦争と人々の暮らし	5	・我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会事象を的確に調査したり、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用したりすると共に、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現する。
12	・新しい日本 平和な日本へ	6	
1	2 わたしたちの生活と政治 ・みんなの願いを実現する政治	8	
2	・わたしたちの暮らしと日本国憲法	8	(知識・理解)
3	3 世界の中の日本 ・日本と関係の深い国々 ・世界の平和と日本の役割	8 8	・国家、社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解している。
年間授業時数		100	
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・人物名や国名、年号などの基礎的な知識は、繰り返し学習して定着できるようにしていきます。 ・より具体的な資料やビデオなどから情報収集するために図書資料やインターネットなどを活用し、自ら調べて考える学習の構築を図ります。 ・新聞記事やテレビ番組など生活の中で、歴史や政治、他国について関心が持てるよう、新聞記事の紹介をし、ニュースや新聞に親しむことができるようにします。 		
評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとのテストのほか、授業ごとの三択クイズや、歴史新聞などの学習のまとめ方や社会の出来事についての関心の高さを含めて評価します。 ・授業では知識よりも物事の原因や影響などの自分なりの考えや感想・意見の発表を重視します。 ・歴史や政治で学んだことを実生活に生かそうとする態度を評価します。 		

平成20年度年間授業計画 第6学年(算数)

月	学習内容(単元)	時間数	年間学習目標
4	1 倍数と約数	12	(関心・意欲・態度) ・数量や図形の性質や関係などに着目して考察
5	2 積や商の見積もり	2	処理したり、理論的に考えたりすることのよさ
	3 分数	13	に気付き、進んで活用しようとする。
6	4 いろいろな立体	11	(考え方)
7	5 体積	14	・算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎
9	6 単位量当たりの大きさ ・前期の復習	18 3	を身に付け、理論的に考えたり、発展的、統合的に考えたりする。
10	7 分数のかけ算とわり算(1)	9	(表現・処理)
11	8 分数のかけ算とわり算(2)	14	・分数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、立体図形の体積を求めたり、立体図形を構成したり、数量関係などを表したり調べたりする。
	・倍と割合	3	(知識・理解)
12	9 およその面積	2	・数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、分数の計算の意味、体積の求め方、基本的な立体図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解する。
1	10 比 ・復習	8 3	
2	11 比例	13	
3	・学校で使うものを調べよう	2	
	12 算数のまとめ	9	
	・算数ワンダーランド	14	
年間授業時数		150	
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が主体的に問題に取り組めるよう、身近な問題や実生活に応用できる課題を取り上げ、作業や体験を取り入れた活動を行います。 ・6年生では、分数の学習が大きな割合を占めるので、分数のかけ算やわり算が用いられる場面を理解し、適切に用いることができるように繰り返し学習します。 ・6年間の学習の基礎的・基本的な学習内容の確実な理解と定着のため、学年の終わりには、個々の課題に応じて楽しく復習する時間を設けます。 		
評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとのテストだけではなく、平素のプリントやノート、学習中の課題解決に向けて取り組む姿勢などの意欲や発表などで評価します。 ・分数の計算においては、つまずきがよく分かるように、約分、通分、たし算、ひき算、かけ算、わり算などの項目別に小テストを行い、その達成度を評価します。 		

平成20年度年間授業計画 第6学年(理科)

月	学習内容(単元)	時間数	年間学習目標
4	・ わたしたちの地球	2	(関心・意欲・態度) ・ 自然事象を意欲的に追求し、生命を尊重する
5	1 ものが燃えるとき	10	とともに、見出したきまりを生活に当てはめてみようとする。
6	2 ヒトや動物の体	10	(科学的な思考)
7	3 生物とかんきょう	11	・ 自然事象の変化とその要因との関係に問題を見出し、多面的に追求し、相互関係や規則性をとらえ、問題を解決する。
	・ 自然を守る取り組み	1	
	・ 自由研究	2	
9	4 水よう液の性質	12	(観察・実験の技能・表現) ・ 問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして、観察・実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。
10	5 大地をさぐる	14	
11	6 大地の変化	6	(知識・理解) ・ 生物は互いに類似した体のつくりと働きを持ち、環境とかかわっていることや、ものに外から条件を加えらるとものの性質や働きが変わること、土地のつくりと変化に決まりがあることなどを理解している。
12	・ 自然災害に備えよう	1	
1	7 電磁石のはたらき	12	
2	・ 通信の変化とわたしたちの生活	1	
3	8 自然とともに生きる	7	
	・ 希望をもって未来へ	1	
年間授業時数		90	
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識を学ぶことよりも、なぜそうなるのかという過程を学ぶことを重視します。あらかじめ自分の予想を持たせることにより、興味深く学習を進めるようにします。 ・ 単元の特性に合わせて課題別グループにしたり少人数グループにしたりして実験や観察、発表などの諸活動を主体的に行えるようにします。 ・ 調べる活動において、図書資料やインターネットなどの活用について理解させ、自主的に学習に適した探究やまとめができるようにします。 		
評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元ごとのテストのほか、ワークシートを活用し、実験や観察のまとめ方や、自然の出来事に対する関心の高さも含めて評価します。 ・ 授業では知識よりも、個性的な意見や考えを重視します。 		

平成20年度年間授業計画 第6学年(音楽)

月	学習内容(単元)	時間数	年間学習目標
4	ふしの重なり合いを感じ取ろう	7	(関心・意欲・態度) ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにする。 (表現の工夫) ・音楽のよさや美しさを感じ取るとともに、楽曲全体の構成を理解したり、自由な発想を生かしたりして、表現や鑑賞の仕方を工夫する。 (表現技能) ・音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、豊かな響きのある自然で無理のない声で歌ったり、音色の特徴を生かして楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。 (鑑賞の能力) ・楽曲の構成に気を付けながら、曲想を全体的に味わって聴く。
5	運動会の歌	2	
6	アジアの音楽・世界の音楽に親しもう	7	
7	・アジアの国々の音楽 ・世界の国々の音楽		
9	いろいろなひびきを味わおう	4	
10	重なり合う音の美しさを味わおう	10	
11			
12	曲想を感じ取ろう	8	
1	日本の音楽を味わおう	4	
2			
3	心をこめて演奏しよう	8	
年間授業時数		50	
学習方法	・進んで学習に取り組めるように歌唱・楽器などで主体的な活動をうながす場面を多く設定します。 ・音の重なりや響きの美しさを表現するため、合唱・リコーダーの練習を繰り返し、充実感と達成感を味わうことができるようにします。 ・発表の場を設け、互いに聴き合うことで意欲を高めていきます。		
評価について	・音楽に親しみ、進んで音楽活動に参加しているかを評価します。 ・楽しく歌ったり、生き生きと表現したりし、豊かな響きのある声で歌い音色を生かした演奏をしているかを評価します。 ・様々な音楽を聴いて、その美しさを感じ取ることができているかを評価します。		

平成20年度年間授業計画 第6学年(体育)

月	学習内容(単元)	時間数	年間学習目標
4	陸上運動 ・柔らかさや巧みさを高める運動 ・走り幅跳び	7	(関心・意欲・態度) ・協力・公正などの態度を身につけ、健康・安全に留意し、最善を尽くして運動の楽しさや喜びを求めて運動しようとする。
5	運動会の練習 ・短距離走・リレー ・表現	8	・自分の心身の健康や身のまわりの安全に関心を持ち、進んで健康で安全な生活をしようとする。
6	スポーツテスト 器械運動 ・鉄棒運動 ・マット運動・跳び箱運動	6 4	(思考/判断) ・運動の特性に応じた自己の課題を目指して活動の仕方を考え、工夫することができる。
7	水泳	8	・自分の心身の健康や身のまわりの安全について考え、判断することができる。
9	病気の予防 水泳 陸上運動 ・ハードル走・短距離走	4 3 8	(運動の技能) ・自己の能力に応じた課題を理解して、運動を行うとともに運動の特性に応じた技能を身につける。
10	・リレー 器械運動	2 9	
11	・鉄棒運動 ・マット運動 ・跳び箱運動		
12	陸上運動 ・走り高跳び	5	
1	病気の予防	2	
2	バスケットボール	6	
3	サッカー 体力を高める運動・なわとび ソフトバレーボール 病気の予防	7 3 6 2	
年間授業時数		90	
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・体力づくり・器械運動・陸上運動・水泳で実態に応じた課題の達成に向けて挑戦できるように、学習カードなどで自己の課題をはっきり設定させたり、個に応じた練習の場を工夫したりして、一人一人の意欲や技能、体力を伸ばしていきます。 ・ボール運動や表現運動では、みんなが楽しめるような作戦や動きを工夫して考えることを重視します。 ・不足した体力を補強する運動を年間継続します。 ・保健では、養護教諭とT Tの形態をとった指導も行います。 		
評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・運動技能や知識についての評価だけでなく、日記や保健プリントなどの記入事項を参考にして意欲や関心を重視します。 ・課題達成に向けての工夫や努力が分かるような学習カードを活用させ、結果よりもその過程を評価します。 		

平成20年度年間授業計画 第6学年(家庭科)

月	学習内容(単元)	時間数	年間学習目標
4	見直そう 毎日の食事 ・どんな食べ物を食べているのかな	10	(関心・意欲・態度) ・衣食住や家族の生活について関心を持ち、家族の一員として家庭生活をよりよくしていくために進んで取り組み実践しようとする。
5	・ごはんのみそしるを作ろう		
6	・おかずの必要性を考えよう		
6	つくろうさわやか生活	10	(生活を創意工夫する能力)
7	・暑い季節を気持ちよく過ごそう		
9	・衣服の着方を考えよう		
	・衣服の手入れをしよう		
	・生活に役立つものをつくろう	4	・衣食住や家庭生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して、家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりする。
10	まかせてね きょうのごはん ・食べ物の組み合わせを考えよう	12	(生活の技能) ・生活的な自立の基礎として必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技能を身に付けている。
	・家族の喜ぶおかず		
11	・楽しい食事をくふうしよう		
	くふうしようきせつにあうくらし	6	(知識・理解) ・家庭生活を支えているものや大切さを理解し、衣食住や家庭生活に関する基礎的な知識を身に付けている。
12	・季節に合うくらしを考えよう		
1	・快適な住み方をくふうしよう		
	伝えよう ありがとうの気持ち		
2	・できるようになったことをふり返ろう	2	
	・家庭へ地域へふれ合いをひろげよう	5	
	・わたしの気持ちを伝えよう	4	
3	これからの生活に向けて	2	
年間授業時数		55	
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や総合的な学習や保健などの他教科との関連を考慮した学習の配列にします。 ・実践的、体験的な活動を取り入れ、日常生活に必要な基礎的な知識や技能を身につけるようにします。 ・家庭生活だけでなく、学校生活でも学習したことを工夫し、生かしていこうとする主体的なくらしができるように活動を広げていきます。 		
評価について	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとのテストだけでなく、生活をより良くしていこうとする意欲や実践力、衣食住に関する基礎的な技能、作品などで評価します。(実践カード・振り返りカード) ・知識だけでなく、生活を良くしていこうとする意欲と基礎的な技能を育てていき、そこを評価します。 		